

【報道関係各位】

～日本 vs カメルーン戦を観た 300 人に聞いた～
ワールドカップ 2010 に関する調査

- W杯カメルーン戦、日本が‘勝つとは思っていなかった’ 7割超。
- 活躍したと思う選手は、
1位「本田圭佑選手」37%、2位「川島永嗣選手」16%、3位「松井大輔選手」16%
- 次回オランダ戦も「日本代表を応援したい」86%。

2010年6月15日
株式会社マクロミル

株式会社マクロミル（本社：東京都港区、代表取締役会長兼社長：杉本哲哉）は、ワールドカップ南アフリカ大会の『日本 vs カメルーン』の試合を観た人を対象に、「ワールドカップ 2010 に関する調査」を実施しました。調査手法はインターネットリサーチ。調査期間は、試合終了直後の2010年6月15日（火）1：20 から 13：00 に限定して行いました。有効回答は300名から得られました。

【調査結果概要】

【1】 W杯カメルーン戦、日本が‘勝つとは思っていなかった’ 7割超。

南アフリカで行われている2010FIFAワールドカップ。6月14日16時（日本時間同日23時）に行われた『日本 vs カメルーン』の試合をテレビやパブリックビューなどで観戦した人300人に対して、試合前に勝敗をどう予測していたか尋ねたところ、「勝つと思っていた」人は17%でした。一方、「負けると思っていた」と回答した人は60%、「引き分けだと思っていた」が15%となっており、「勝つとは思っていなかった」人は合計で75%となりました。

初戦カメルーンとの試合結果は日本が1-0で勝利をおさめています。その勝因について尋ねると、「選手の動きがよかった」と思う人は88%、「監督の指示がよかった」と思う人は61%となっています。

**【2】 カメルーン戦で活躍した選手は、
1位「本田圭佑選手」、2位「川島永嗣選手」、3位「松井大輔選手」**

W杯『日本 vs カメルーン』の試合を観た人に、最も活躍した日本選手は誰だと思いか尋ねたところ、1位「本田圭佑選手」が37%、2位「川島永嗣選手」が16%、3位「松井大輔選手」が16%となりました。

印象に残ったシーンでは、一点を決めた本田選手に「よく落ち着いてゴールを決めた。素晴らしい」とのコメントや、ゴールキーパーの川島選手に対し「特に後半、せめられ続けたのによく守った」という声が寄せられています。また、松井選手には「絶妙なクロスでアシストした」とゴールの決め手となった的確なプレーが絶賛されています。

【3】 次回オランダ戦も「日本代表を応援したい」86%。

6月19日（土）には2試合目、オランダとの試合が予定されています。『日本—オランダ』の試合を観戦して応援したいか尋ねたところ「応援したい」と回答した人は86%に達しました。

カメルーン戦の観戦者からは「まさか日本が勝つとは思っていなかったのが嬉しかった。最近の日本は暗いニュースなどが多いので、久しぶりに感動した」「最近のサッカー観戦でこんなに興奮し感激したのは、久しぶり。この勢いで、是非とも決勝トーナメント進出してもらいたい」などのコメントが寄せられ、次回の試合に向けて日本代表への期待が高まりそうです。

～日本 vs カメルーン戦を観た 300 人に聞いた～
ワールドカップ 2010 に関する調査

【調査結果詳細】

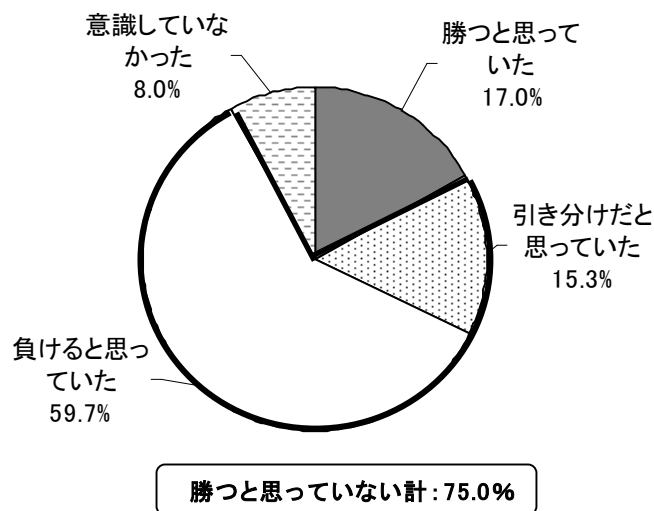
■ 調査概要

調査方法：	インターネットリサーチ							
調査地域：	全国							
調査対象：	ワールドカップ南アフリカ大会 日本 vs カメルーン の試合を観た人（マクロミルモニタ会員）							
有効回答数：	合計 300 サンプル		10代	20代	30代	40代	50代以上	小計
		男性	5	16	49	57	48	175 サンプル
		女性	0	30	45	32	18	125 サンプル
調査日時：	2010年6月15日（火）1：20～13：00 ※試合終了直後の期間に限定して実施しています。							
調査機関：	株式会社マクロミル							

■ W杯カメルーン戦、日本が‘勝つとは思っていなかった’ 7割超。

2010FIFA ワールドカップ南アフリカ大会の『日本 vs カメルーン』の試合の観戦者 300 人に対して、試合前に勝敗をどう予測していたか尋ねたところ、「勝つと思っていた」人は 17%でした。一方、「負けると思っていた」と回答した人は 60%、「引き分けだと思っていた」が 15%となっており、「勝つとは思っていなかった」人は合計で 75%となりました。（図 1）

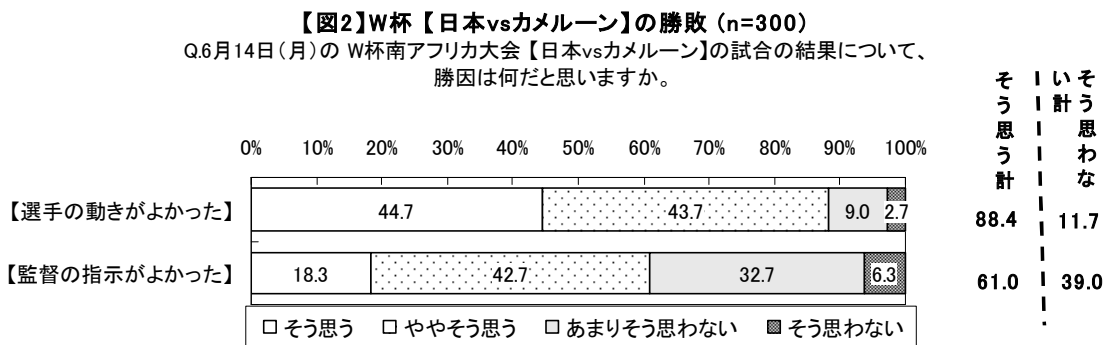
【図1】W杯【日本vsカメルーン】の勝敗予測（n=300）
Q.6月14日（月）の W杯南アフリカ大会【日本vsカメルーン】の
試合の勝敗について、開始前はどのように思っていましたか？



■ 日本代表の勝因は、‘選手の動きがよかったと思う’ 8割超。

カメルーンとの試合の結果について、勝因を尋ねました。‘選手の動きがよかったか’ という問いに「そう思う」と回答した人は45%、「ややそう思う」と回答した人は44%となっており、合計で8割超が‘選手の動きがよかった’ と回答しています。

また、‘監督の指示がよかった’ とする（そう思う+ややそう思う）人は61%となっています。（図2）



■ カメルーン戦で活躍した選手は、

1位「本田圭佑選手 (37%)」2位「川島永嗣選手 (16%)」3位「松井大輔選手 (16%)」

W杯『日本 vs カメルーン』の試合を観た人に、最も活躍した日本選手は誰だと思えるか尋ねたところ、1位は「本田圭佑選手 (37%)」、2位は「川島永嗣選手 (16%)」3位は「松井大輔選手 (16%)」となりました。（図3）

【図3】W杯【日本vsカメルーン】活躍した選手 (単一回答/上位5位)(n=300)
Q.6月14日(月)W杯南アフリカ大会【日本vsカメルーン】の試合で最も活躍したと思う選手はだれですか？

順位	選手名	(%)
1	本田圭佑選手	37.3
2	川島永嗣選手	16.3
3	松井大輔選手	15.7
4	中澤佑二選手	3.3
5	長友佑都選手	2.7

■ カメルーン戦で活躍した選手の印象的なシーン

活躍した選手について、印象に残ったプレーや理由を尋ねると、一点を決めた本田選手には「よく落ち着いてゴールを決めた。素晴らしい」。ゴールキーパーの川島選手に対し「特に後半、せめられ続けたのによく守った」。松井選手には「絶妙なクロスでアシストした」と各選手のプレーを称えるコメントが寄せられています。(図3-2)

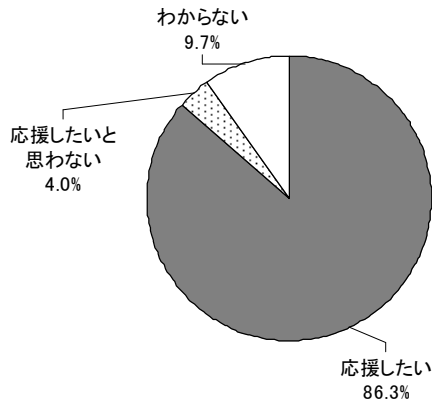
【図3-2】W杯【日本vsカメルーン】活躍した選手の理由(上位5位/自由回答抜粋)
 Q.6月14日(月)W杯南アフリカ大会【日本vsカメルーン】の試合で最も活躍したと思う選手についてその理由・印象に残ったプレイをご記入ください。

本田圭佑選手	性別	年齢(才)	職業
よく落ち着いてゴールを決めたと思います。素晴らしいです。	男性	28	会社員
貴重なゴール。決定力不足の日本において、少ないチャンスをものにできる力がある。	男性	34	公務員
ゴールをきめるのは、一瞬の判断と冷静さが必要だと思います。焦ることなくキーパーの動きをみて決める事が出来たのが、今の日本チームにかかせない選手だと思います。	男性	38	会社員
あわてずによく落ち着いて決めたとと思う	男性	55	自営業
強気な姿勢がよかった。有言実行できてた。	女性	34	専業主婦
落ち着いてゴールを確実に決めたと、という点で、みんなすばらしかったですが一人挙げるなら本田選手。	女性	35	専業主婦
ゴール前で運を引き寄せ、かつメンタルの強さを感じさせてくれた。	女性	38	専業主婦
常に最前線で身体を張ってプレーしていた	女性	40	パート・アルバイト
川島永嗣選手	性別	年齢(才)	職業
ゴール前で相手に決められたと思うような場面でも冷静に前に出る、もしくは下がるといった一つ一つのプレーに集中し、ボールを大切にしていた。	男性	46	会社員
後半のロスタイム時ボールによく反応できていた	女性	27	パート・アルバイト
ゲーム終盤、何度かひやひやしたが、0点に抑えてくれたところ。本田がもぎ取った1点を大事にしてくれた。	女性	35	パート・アルバイト
機敏なセーブが印象的だった	女性	37	学生
特に後半、せめられ続けたのによく守った。	女性	42	パート・アルバイト
松井大輔選手	性別	年齢(才)	職業
前半からアグレッシブに動き、豊富な運動量で攻守に渡り活躍した。見事なアシストも印象的。	男性	19	学生
縦への仕掛けるドリブルが良かった	男性	35	会社員
決勝点をアシストしたプレイはよかった。よく冷静に周りをみていたと思う。	男性	40	会社員
1点は本田が決めたが、ためを作りその本田をウラへ回しアシストをした松井の存在は大きい。彼の1点でもある。	男性	51	会社員
ドリブルで切り込んでチャンスを作っていた。	女性	28	会社員
ゴールを決めた本田へのパスが素晴らしかった	女性	30	会社員
中澤佑二選手	性別	年齢(才)	職業
後半のディフェンスでは、ボディーアタック、空中戦で負けてなかった	男性	63	自営業
とにかく危うい場面での判断が何度も正確だった	女性	26	会社員
たびたび日本ゴール前でクリアにする場面があり、よく守っていた印象がある。日本の1点を死守していた。	女性	28	パート・アルバイト
長友佑都選手	性別	年齢(才)	職業
エトーに仕事をさせなかった。	男性	30	会社員
全体的に動きがいい。	男性	47	自由業

■次回オランダ戦も「日本代表を応援したい」86%

6月19日(土)には2試合目、オランダとの試合が予定されています。『日本 vs オランダ』の試合を観戦して応援したいか尋ねたところ「応援したい」と回答した人は86%に達しました。(図4)

【図4】W杯【日本vsオランダ】応援したいか (n=300)
Q.次回は、6月19日(土)にW杯南アフリカ大会【日本vsオランダ】の試合がありますが、あなたは観戦して日本を応援したいと思いますか？
※テレビ、ワンセグ、街頭TVなど形式は問いません



■ W杯『日本 vs カメルーン』を観戦した感想・コメント

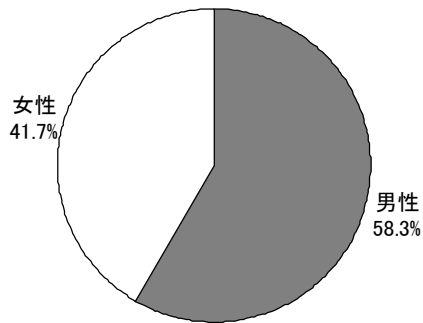
『日本 vs カメルーン』の観戦者から試合の感想やコメントを集めました。一部抜粋してご紹介します。(図5)

【図5】W杯【日本vsカメルーン】の感想・コメント(自由回答抜粋)
Q.6月14日(月)のW杯南アフリカ大会【日本vsカメルーン】の試合のご感想やコメントをご自由にお書きください。

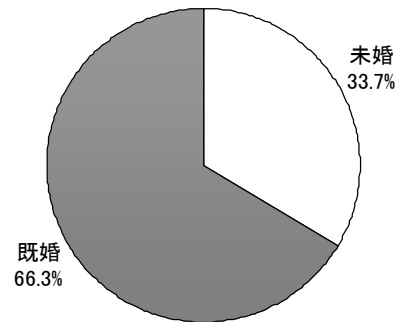
感想・コメント	性別	年齢(才)	職業
W杯期間前の成績が思わしくなかっただけに、どうなるかと思いましたが初戦という極限の緊張感の中でもよく戦いました。次のオランダ戦はもっと厳しい戦いになります、日本の売りである組織力を生かし、善戦してくれると思います。	男性	19	学生
どちらも序盤は、守備を重視した試合の進め方をしていたのですが、その中で日本が前半に1点取り1-0と後半に折り返してきたことによって、後半は何をすべきかが選べ優位に試合を進められる試合内容でした。	男性	24	パート・アルバイト
エトーに仕事をさせなかったことが1番の勝因だと思います。直前のテストマッチ4試合より、よく攻めていたと感じました。後半残り10分ぐらいで運動量が落ちて、カメルーンに攻め込まれるシーンが多かったので課題はそこだと思います。どんな形でも初戦で勝ち点3を取れたことは素晴らしいです。	男性	28	会社員
今までの親善試合と比べて動きがかなり違った。同じ日本国民として誇りに思える試合をしてくれたと思う。	男性	30	会社員
全敗も予想される中、まさかの大金星だと思う。この流れに乗って、ぜひとも決勝トーナメントへ進んでもらいたい。	男性	33	会社員
暗いニュースが多い日本の状況で徐々に国民全体で応援し勝利し、感動したことができて、嬉しいです。次回ももちろん日本全体が盛り上がることでしょう。楽しみです！	男性	34	会社員
勝って本当によかった。この勢いで決勝トーナメントに行っていきたい	男性	35	その他
1勝おめでとう。感動をありがとう。	男性	39	会社員
最近のサッカー観戦でこんなに興奮し感激したのは、久しぶりで、あれだけ批判されながらも大舞台で結果を出す岡田監督に脱帽です。この勢いで、是非とも決勝トーナメント進出してもらいたい。	男性	63	会社員
勝ったのが嬉しい。選手みんなで攻め守った岡田監督の目指した試合内容だと思った。カメルーンのロングボールをよくクリアしていて、良かった。	女性	26	会社員
初戦で勝ち星をあげられた事で、勢いがついたと思う。岡田監督の采配が上手く形になったと思う。	女性	28	会社員
上手く統制をとってクレーバーに試合を進めてよく頑張った！ GKの気迫のあるプレーに感動しました。	女性	35	専業主婦
カメルーンの主力選手が出場しなかったのはラッキーだけど、勝ち自分たちの力で得た物と思いました。	女性	40	パート・アルバイト
良く頑張ってくれました。次はオランダですが、全力でたたかってください。	女性	55	パート・アルバイト

【回答者属性】

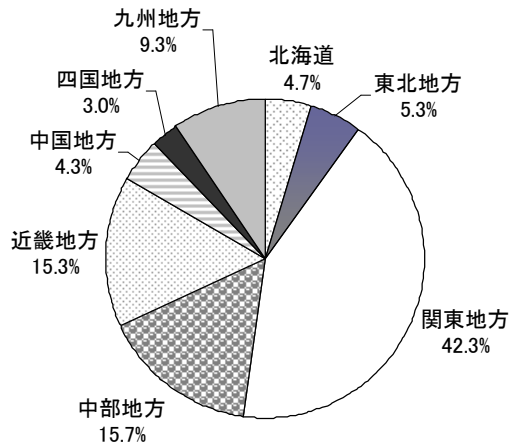
【性別】



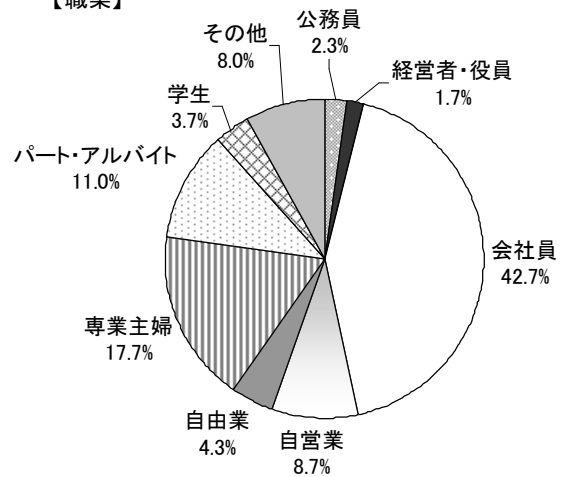
【未既婚】



【地域】



【職業】



【 株式会社マクロミル 会社概要 】

株式会社マクロミルは、さまざまな企業の商品やサービス等に対する消費者の声を、インターネットを活用して瞬時に集めるインターネット市場調査会社です。

国内 90 万人を超えるマクロミルモニタを調査対象として迅速なネットリサーチを行う「QuickMill」のほか、携帯電話を活用したモバイルリサーチ「MobileMill」、世界各国の消費者を対象にした海外市場調査「GlobalMill」など様々なネットリサーチサービスを展開しています。

社名 ■株式会社マクロミル
 本社 ■東京都港区港南 2-16-1 品川イーストワンタワー11F 〒108-0075
 URL ■www.macromill.com
 設立 ■2000 年 1 月 31 日
 資本金 ■15 億 9,785 万円 ※2010 年 6 月 1 日現在
 上場取引所 ■東証一部 (証券コード : 3730)
 代表者 ■代表取締役会長兼社長 杉本哲哉
 従業員数 ■298 名 ※2010 年 5 月末現在
 事業内容 ■インターネットを活用した市場調査 (ネットリサーチ)

本件に関するお問い合わせ先

株式会社マクロミル 広報担当 : 大野
 東京都港区港南 2-16-1 品川イーストワンタワー11F 〒108-0075
 TEL:03-6716-0707 FAX:03-6716-0701 E-mail:press@macromill.com

《 引用・転載時のクレジット表記のお願い 》

本リリースの引用・転載の際は、必ずクレジットを明記していただきますようお願い申し上げます。調査結果のグラフ・表をご利用の場合は、データ部分に当社クレジットの掲載をお願い致します。

<例> 「インターネット調査会社のマクロミルが実施した調査結果によると・・・」

